

良かれと思ってしたことが、かえって裏目に…

バレンタイン直前・男女の本音意識調査

街に溢れるハート柄のディスプレイや、雑誌の手作りチョコレート特集記事。店頭に並ぶ、いつもはお目にかかれないチョコレートなど、いやがうえにも周囲は「バレンタインモード突入」なこの時期。

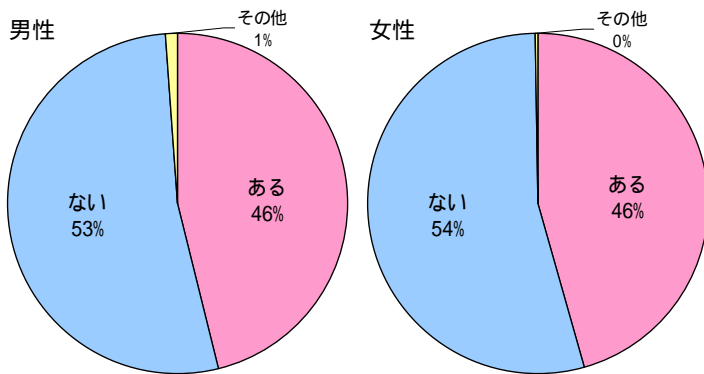
「女性から愛を告白する日」として定着した感のあるバレンタインデーだが、一方では「義理チョコしかあげたことない」といった話も聞く。

そこで、結婚相手紹介サービスを展開する株式会社パートナーエージェント(新宿区・代表取締役 佐藤 茂)では、20代～30代の未婚男女1,202名に向けて「バレンタインに関する意識調査」を実施した。

実は半数以上は「経験なし」。バレンタインデーの告白

バレンタインデーには、恋する女性が好きな男性に愛を告白する日…まるで当たり前のように思われているが、実際に告白をする人はどれくらいいるのだろうか？

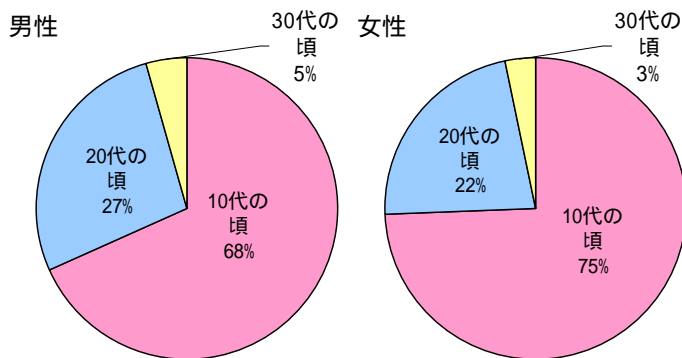
図1：バレンタインデーに告白をした(された)ことがありますか？



「今までバレンタインデーに告白をした(された)ことがありますか？」という問いに対しては、半数以上の男女が「ない」と回答した(図1)。

恋愛イベントとして定着しているバレンタインだが、実際には正しく利用している人は「若干少数派」といえそうだ。

図2：バレンタインデーに告白をしたのは、何歳の頃ですか？



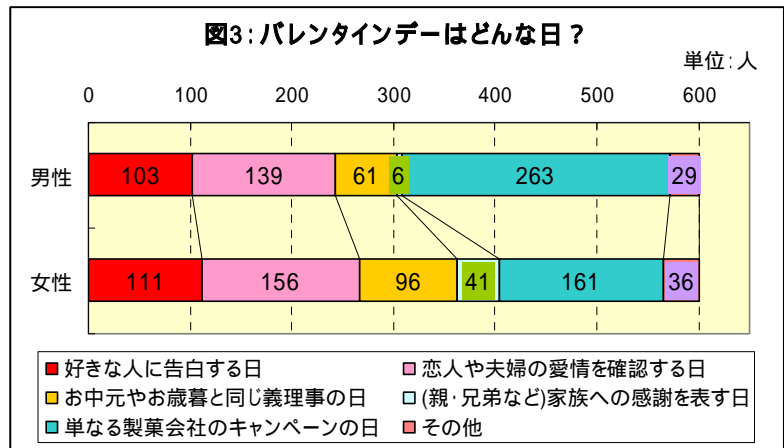
一方で「告白した(された)事がある」と回答した人も、多くはそれが10代での経験であるとしており(図2)、年齢を重ねるごとに「バレンタインデーは告白をする日」という意識は薄くなるようだ。

「バレンタインデーの捉え方」に男女の差

では、「バレンタインデーを何の日と捉えるか？」については、一部に男女の差が見られた(図3)。

本来は、製菓会社が「好きな人に告白する日」と設定づけた日ではあるのだが、上記の結果を反映するように「好きな人に告白する日」として現在も活用する男女は共に少なく、むしろ「恋人や夫婦の愛情を確認する日」と回答した人の方が多く見られた。

特徴的な傾向として、男性は「製菓会社が作った単なるキャンペーンの日」と、そのままの意味で考えている人が半数近くにのに対し、女性は「家族への感謝を表す日」「お中元やお歳暮と同じような義理事の日」と回答している人も多く、総じて解釈の幅が分散していることから、「物事をそのまま受け取りがちな男性と、プラスアルファの意味合いを持たせたがる女性」という姿が浮かび上がりそうだ。



**女性の「大失敗の思い出」と、男性の「嫌だ・困った思い出」はリンクするか？**

そんなバレンタインの思い出、女性の「大失敗だった」思い出として圧倒的に多かったのは、「(ラッピングを含む)チョコの仕上がり」に関するものだった(表1：男性では4位)。「チョコを入れた鞆を、うっかりヒーターの上に置いてしまい、ドロドロになった」「手作りチョコの中に入れるアーモンドに、父の酒のつまみを使ったらとんでもなくまずかった」など、期待したものが出来なかった時の落胆は印象に残るようだ。

**表1：バレンタインの大失敗、嫌な思い出、困った思い出 上位5件**

順位	男性：バレンタインで「嫌だ・困った」事	女性：バレンタインの「大失敗」
1	他の人のいる前で渡された...49件	仕上がりに失敗した...52件
2	自宅まで来られた...20件	告白したがフラれた...30件
3	演出にドン引き...19件	結局渡せなかった...24件
4	味や見た目などの仕上がり...18件	他の人のいる前で渡してしまった...23件
5	好きじゃない人から貰った...12件	家まで行ってしまった...21件

一方、男性が「嫌だった・困った」として一番多く挙げたのが「人前で渡された事」。「学校の靴箱でみんながいる前で渡された。死ぬほど恥ずかしかった」「影から女の子の同僚が大勢で見ている」など、甘酸っぱい思い出の1ページと取れなくもないが、男性にとっては死ぬほど恥ずかしいものらしい。

次いで多かった「自宅に突然来た」も、「家の前に来られた。玄関先で友人や親が後ろで遠目に見ているので冷やかされるかと思うと辛かった。」「自宅のポストに入れられており、家族に見られた」「彼女がいるのに自宅に来られて大変だった」など、最後の回答はともかく、やはり恥ずかしい事が男性にとっては一番つらいと言えそうだ。その他にも、女性が良かれと思ってしていることが、男性にとってはマイナスなエピソードも寄せられた(表2,3)。

**表2：バレンタイン、男性が嫌だった・困ったエピソード(少数意見)**

- ・ 持って帰るのが困るような大きなケーキは、嬉しかったけど恥ずかしい。
- ・ 彼女からのチョコが、コンビニのアーモンドチョコだった。今どき、コンビニだってラッピングしているのがあるのに...と思った。
- ・ 貴金属を貰うと「お返しを期待してるのかな」と疑ってしまう。
- ・ チョコは好きじゃないと言ってあるのに、自分が食べたいからとチョコを買ってきた。
- ・ 好きでもない子から、手作りのミサンガを貰った。どう処分していいのが困った。
- ・ 「私を食べて」と書いてあった。嫌だと思った。

表 3 : バレンタイン、女性の大失敗エピソード (少数意見)

- ・ 本命チョコを渡したら、「まさかもらえるとは！」と言われたので、「義理に決まっているでしょ！」と思わず言ってしまった。
- ・ 社内の女子でお金を出し合って上司に義理チョコを買ったけど、あげる時に立ち会わなかったら、私だけお返しをもらえなかった。
- ・ 遠距離恋愛の彼にチョコを送ろうと思ったが1個だと少なすぎると思い、箱いっぱいを送ったら、食べ切れないと言われてしまった。
- ・ 渡すはずのチョコをなぜか自分が食べてた。花より団子の自分にかっかり。

今年のバレンタインデー、片思いの相手に告白するつもりの人、彼氏にプレゼントするつもりの人、こんな彼らの「本音」を意識してみてはどうだろうか。

### パートナーエージェント概要

商号：株式会社パートナーエージェント

事業内容：結婚情報サービス事業

設立：平成 18 年 9 月 15 日

本店所在：東京都新宿区西新宿 1-13-12 西新宿昭和ビル 9F

代表者名：佐藤 茂

資本金：19,500 千円

URL： <http://www.p-a.jp>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社パートナーエージェント

経営企画部 平田

TEL：03-5322-8645 FAX：03-5322-8625

Mail： [info@p-a.jp](mailto:info@p-a.jp)